

令和3年度「学ぶ力」育成プログラム

学校番号：31005

学校名：札幌市立向陵中学校

改訂のポイント		○生徒が「分かった、できた、楽しかった」と達成感や成就感、満足感をもてる授業の取組の継続 ○新学習指導要領の円滑な実施と学校力・教師力の向上を目的とした研修の充実		
項目名	項目内容	項目内容の具体		
目標	「学ぶ力」の育成に係る目指す子ども像	☆ 学ぶ意欲をもち、自ら調整しながら学びに取り組む生徒		
「学ぶ力」に関する成果や課題	学ぶ意欲	【昨年度の具体的な取組】 ・生徒のつまずきの解消を目指す一方で、学びの習熟度の高い生徒への対応については、更なる工夫改善を行う。	【成果】 ⇒T・Tや少人数指導での効果的な学習指導の充実により、つまずきを解消し、より発展的な課題に取り組ませた。	【課題】 ◇対面授業の制限で協働や話し合いの場面が削られ、意見を積極的に発言する生徒の割合が減少した。
	思考力・判断力・表現力等	【昨年度の具体的な取組】 ・思考力、判断力、表現力をどんな方法でどのように見取り、学ぶ意欲や知識・技能と繋げていくのか、教科を超えた研修を深める。	【成果】 ⇒生徒への学習評価の在り方についてしっかりとした検証を行い、指導との一体化を図った。外部の講師を招き、新学習指導要領の詳細や、評価についての研修を深めた。	【課題】 ◇評価についての信頼性をさらに高めていく必要がある。新学習指導要領実施に向けた、指導の充実が求められる。
	基礎的・基本的な知識及び技能	【昨年度の具体的な取組】 ・既習事項をどの程度理解しているのかを把握することで、理解度に応じた手立ての工夫を講じる。 ・自ら見通しをもち、計画を立てて学習する力を身に付けさせる工夫を行う。	【成果】 ⇒既習事項を想起させる場面を工夫し(スパイラル化)、それらの知識・技能を活用しながら、新たな課題を解決していくことで「分かる」「できる」実感を味わうことができた。	【課題】 ◇単元の目標を常に意識し学習を進めたり、学習の途中で自分の進捗や理解の状況を振り返る機会を設けたりして、より明確な見通しをもてる授業作りを行う。
改善策(取組)	取組の最重点	【取組の共有】 ICTを活用した主体的・対話的で深い学びの実現		
	具体的な改善策(取組)	○授業での課題の明確化と生徒の「主体的・意欲的・積極的」な言語活動の展開 ○生徒同士の協働の学びを生かし、課題解決に向けた知識活用の場面を取り入れた授業実践の工夫 ○生徒の意欲向上につながる評価活動の工夫や改善 ○教育相談活動の充実 ○T・Tや少人数指導での効果的な学習指導の工夫、個に応じた学習指導の充実を図る。 ○本校研究主題「学ぶ側に立つ教育の実践～学びの質の向上を目指して」に即した教師研修の充実や授業実践による検証		
検証の方法	各種調査や子どもの自己評価指標の活用	○各教科の評価規準に基づく学習状況評価結果の活用 ○全国学力・学習状況調査や学校独自の調査結果等の活用 ○札幌市全体の共通指標(子どもの自己評価)の活用		